

学校に置いてよい物、いわゆる「置き勉」リスト等の掲示や学年通信等により、生徒や保護者に周知している取組 (宇城市立不知火中学校の例)

生徒の家庭学習を充実させるため、学習の進め方と持ち帰る必要がある学習用具を記載した資料を保護者と生徒にそれぞれ配付しました。

令和3年4月28日

保護者様
宇城市立不知火中学校
校長 上村 一 浩

家庭学習についてのお知らせ

賜顧の皆様、保護者の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動にご理解ご協力頂き感謝申し上げます。さて、本校では、生徒の学力向上のために、家庭学習の推進を図っております。学校と家庭が連携を取りながら、生徒の学習習慣形成を促す取組を進めていく必要があります。ぜひご家庭でも、子どもたちの学力向上のために保護者の方のご協力をお願いしたいと考えています。つきましては、下記のとおりを進め方で子どもたちは家庭学習を行っております。保護者の方に協力していただきたいと思いますとも合わせて記載しておりますのでご確認ください。お忙しいとは思いますが、何卒ご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。


記

1 家庭学習の進め方及び必要な学習用具 (生徒には配布済)

家庭学習の進め方	
①自分の1日の生活を考え、勉強する時刻を決める。②最初に宿題をする。③今日の授業の復習する。④明日の時間割を確認し、予習をする。	
教科ごとの進め方	持ち帰る学習用具 (基本ライン)
国語 ・教科書を音読して内容をつかむ。 ・新出漢字や読めない漢字、意味のわからない単語をノートに書き、辞書を使って調べる。 ・学習した漢字や語句を繰り返し書いて覚える	○教科書の計画に合わせて、漢字帳やワークを持ち帰る。
社会 ・教科書を読み、太字の語句 (重要語句) をノートに書き出す。 ・重要語句についてノートに説明してまとめる ・教科書に出ている資料やグラフなどに目を通し、特色や傾向をつかむ。 ・プリントやワークをする。答え合わせをする	○教科書やファイル (ノート)、基礎・基本徹底ワーク (家庭学習の計画に合わせて、教科書やファイル、ワークを持ち帰る)
数学 ・教科書やノートを見直し、語句や公式を復習する。 ・教科書やワークの問題を解いて、答え合わせをする。 ・計算問題は、繰り返しノートに解く。 ・問題を解くときは、途中の計算も書く。	○教科書 (家庭学習の計画に合わせて) ワーク (授業のあった日)
理科 ・理科ノートに目を通し、学習した内容を整理する。 ・教科書の重要語句を見直す。 ・実験で使った器具、方法、結果を見直す。 ・プリントやワークをする。答え合わせをする	○教科書、ノート、問題集を家庭学習の計画に合わせて持ち帰る。
英語 ・教科書の本文をノートに書き写す。 ・意味のわからない単語を辞書を使って調べる。 ・本文の日本語訳や単語を辞書を使って調べる。 ・単語帳や単語集、英文を書いて覚える。 ・プリントやワークをする。答え合わせをする ・学習している所の 「I can do it!」 を聞く。	○教科書とノート (家庭学習で本文の複写や日本語訳を書くとき) ○ファイル (単語のテストやプリントの宿題が出た時)

2 ご家庭での取組
①保護者が全曜日、自学ノート (家庭学習ノート) を見る。
②確認欄に印 (サイン) をする。(週に1回)
③子どもが家庭学習ノートで、良くなった点、工夫した点を挙げる。
④子どもが家庭学習を継続することを、認め、ほめ、励ます。
※②と④は、子どもたちの様子を見て、適宜行ってください。

中学生の家庭学習

宇城市立不知火中学校 

目標

- 自分の1日の生活を考え、勉強の計画を立てよう。何曜日にもどの教科の何をもち帰るのか考えて計画を立てよう。
- 1・2年生は毎日1時間30分以上、3年生は2時間以上学習しよう
- 集中して学習しよう
- 宿題、その日の復習、明日の予習と繰り返し覚える学習を取り入れて取り組もう

家庭学習の前に・・・

- 勉強する場所は、かたづいていますか。
- テレビやゲーム、携帯電話 (スマホ) などのメディアはスイッチを消しましたか。
- 正しい姿勢になっていますか。

家庭学習の進め方

①自分の1日の生活を考え、勉強する時刻を決める。②最初に宿題をする。③今日の授業の復習する。④明日の時間割を確認し、予習をする。

教科ごとの進め方		持ち帰る学習用具 (基本ライン)
国語 ・教科書を音読して内容をつかむ。 ・新出漢字や読めない漢字、意味のわからない単語をノートに書き、辞書を使って調べる。 ・学習した漢字や語句を繰り返し書いて覚える		○家庭学習の計画に合わせて、漢字帳やワークを持ち帰る。
社会 ・教科書を読み、太字の語句 (重要語句) をノートに書き出す。 ・重要語句についてノートに説明してまとめる ・教科書に出ている資料やグラフなどに目を通し、特色や傾向をつかむ。 ・プリントやワークをする。答え合わせをする		○教科書やファイル (ノート)、基礎・基本徹底ワーク (家庭学習の計画に合わせて、教科書やファイル、ワークを持ち帰る)
数学 ・教科書やノートを見直し、語句や公式を復習する。 ・教科書やワークの問題を解いて、答え合わせをする。 ・計算問題は、繰り返しノートに解く。 ・問題を解くときは、途中の計算も書く。		○教科書 (家庭学習の計画に合わせて) ワーク (授業のあった日)
理科 ・理科ノートに目を通し、学習した内容を整理する。 ・教科書の重要語句を見直す。 ・実験で使った器具、方法、結果を見直す。 ・プリントやワークをする。答え合わせをする		○教科書、ノート、問題集を家庭学習の計画に合わせて持ち帰る。
英語 ・教科書の本文をノートに書き写す。 ・意味のわからない単語を辞書を使って調べる。 ・本文の日本語訳や単語を辞書を使って調べる。 ・単語帳や単語集、英文を書いて覚える。 ・プリントやワークをする。答え合わせをする ・学習している所の 「I can do it!」 を聞く。		○教科書とノート (家庭学習で本文の複写や日本語訳を書くとき) ○ファイル (単語のテストやプリントの宿題が出た時)

家庭学習が終わったら・・・
明日の準備ができていないか、忘れ物がないか確認しよう。

[工夫した点]

○毎日決まった学習用具を持ち帰る (決まった学習用具を置いておく) のではなく、生徒個々が計画に合わせて必要な用具を持ち帰るようにしている。その方が量的にも生徒の負担にもならないと考えた。

○各教科の担当教師が家庭学習の進め方を提示し、生徒がそれぞれの家庭学習の計画に応じて **必要な分だけ持ち帰り** 効率的で効果的な家庭学習に取り組んでいる。

学習用具等を教室内の特定の場所に保管したり、部活動で使用する用具等を部室などに保管したりしている取組 (南関町立南関中学校の例)

個人の棚や個人ボックスという個人のスペースと共有の棚を区別させ、基本的な生活習慣の定着と自主性や協調性を育てる工夫を行っている。

環境が人をつくる その環境は人がつくる

よりよい環境で生きることは、よりよい人生につながる
よりよい環境をつくることは、自律の一步である



個人用の棚
スクールバッグを縦にして置く。バッグのベルトは垂らさない。個人のボックスに、おいて帰っていい本やファイルなどを入れる。

共有の棚
国語：考えて持って帰る
社会：資料集・地図帳・ファイル
数学：考えて持って帰る
理科：考えて持って帰る
英語：ファイル・ワーク・辞書
音楽：全部
美術：全部・絵の具道具
保体：全部
技家：全部
道徳：教科書・ノート・ファイル
総合：ファイル
その他：文房具

共有の棚
体育館シューズや国語辞典、絵の具道具など、ボックスに入らないものをきれいに置く。

〔工夫した点〕

○個人用の棚を効率よく活用するため、バッグの置き方を指定した。また、個人ボックスを使って、持ち帰るものと置いていいものを区別し、教科書が混在しないように工夫している。

○共有棚を設けることで、協調性を育てることもめざしている。

【掲示してある置き方例】

学校に置いてよい物、いわゆる「置き勉」リスト等の掲示や学年通信等により、生徒や保護者に周知している取組（山鹿市立山鹿中学校の例）

生徒の発達段階や家庭学習への取組を考慮した上で、山鹿中学校版「置き勉」リストを作成し、教室掲示や学校通信を通して、生徒や保護者に周知しています。

通信等の記載内容

生徒たちが各教科の授業で用いる教科書やその他の教材等が過重となることで、生徒たちの身体の発達に影響が生じかねない懸念があります。

そこで、本校では別紙リストを学習委員会と教科担当で作成し、学校保管、管理をいたします。

リスト以外のものに関しては、家庭学習の必要性から持ち帰らせますので、ご理解頂きますようお願いいたします。

学校に置いていいものリスト（1年）

学習委員会

教科	学校に置いて帰っていいもの
国語	教科書、ノート、ファイル、ワーク
数学	基本カード、数の友
英語	ファイル、辞書
社会	教科書、ファイル、自主学习（ワーク）
理科	問題集
美術	教科書、資料集
音楽	教科書、器楽の教科書、ノート、リコーダー
保体	実技と保健の教科書、ノート、ファイル
技術家庭	教科書、ノート

○これ以外のものは全て毎日持ち帰ってください。学習委員会が毎週チェックをします。

○教科書等には全て記名をし、他人の教科書などを勝手に借りたりしないでください。

〔工夫した点〕

○生徒の実態（発達段階や家庭学習への取組等）に応じた「置き勉」リストを作成した。

○教室掲示や学校通信で「置き勉」リストを知らせる。

○年度初めに各教科でリストの見直しを行い改善を図る。

生徒の携行品持ち帰りについての工夫と課題確認ボードの設置による計画的な家庭学習を促すための取組 (合志市立合志楓の森中学校の例)

置いてよいものではなく、その日の夜に勉強するものや課題（家庭学習）だけを持ち帰るよう、ルールを設定しています。また課題を各自で確認し、計画的に家庭学習に取り組めるよう、各クラスに課題確認ボードを設置しています。

【掲示資料】

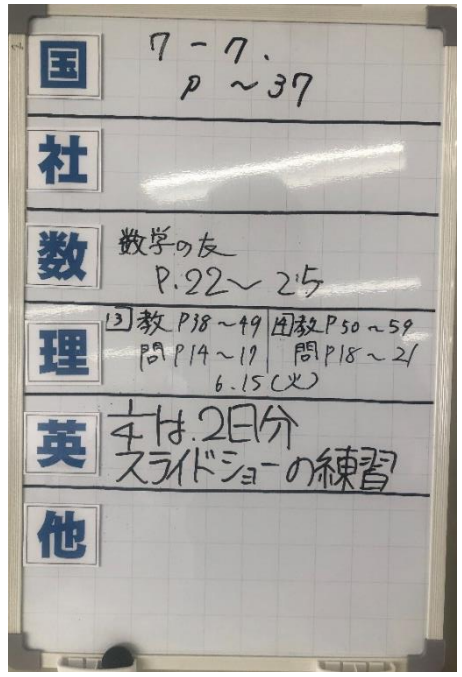
教室掲示

《教科書、ワーク等の持ち帰りについて》

先日、みなさんの携行品の重さを、曜日を変えてランダムに選出して量らせていただきました。結果は、1年生平均 4.1kg、2年生平均 5.8kg でした。（部活動のバッグは除く）

これまで教科書、ワーク等の持ち帰りについて、ルールを明示していませんでした。以下のように設定しますので、約束を守り、安心して生活できる学校を皆でつくりあげていきましょう。

- ・ その日の夜に勉強するものや課題だけを持ち帰る。
(タブレットについては別途連絡)
- ・ ホワイトボードで課題を確認し、計画的に持ち帰ること。
- ・ 紛失等が心配です。貸し借りはしない。整理整頓を心がけること。
- ・ 持ち物にはすべて記名をしておくこと。



【課題を確認できるボード】

〔工夫した点〕

○生徒自身で、計画的に課題に取り組めるよう、教室に各教科の課題（家庭学習）を一覧にしたボードを設置し、持ち帰りを各自で判断できるようにした。

○掲示や通信等で携行品の持ち帰りについて周知した。

「置き逸」も常識?!

現在 楓の森では、その日の課題や自分が家庭学習として取り組むものと思っている教科の道具のみを持ち帰ればよいという指導をしています。鞆に荷物を詰める段階で「家に帰ってからの自由予定」です。机について何しよう? という時間のロスもなくなるのではないかと期待しています。教室には「現在、出題されている課題一覧表ボード」も作ってもらえたので、今やるべきことが一目でわかるようになります。本当に「常識」で時代の流れ、誰かの気づきで変わっていくんですね。先日国語科で学習した説明文がそんな内容でした。こじんは最近下具体例が2020年

【学級通信】

学校に置いてよい物、いわゆる「置き勉」リスト等の掲示や学校生活オリエンテーションにより、生徒に周知している取組（阿蘇市立阿蘇中学校の例）

生徒の発達段階や家庭学習への取組を考慮した上で、阿蘇中学校版「置き勉」リストを作成し、年度当初の中学校生活オリエンテーション（学習の部）や学習委員会による活動を通して、生徒に周知しています。

学習について 2021/04/12
学習担当

- 学習についての心構え**
 - 決まった時間に決まった場所で勉強する。
 - 教科書、ノート、学習用具などは、前日に準備して決して忘れない。
 - 時計を見て行動し（ノーチャイム）、始業と同時に学習を始めるように、授業準備を整えておく。・・・できるようになるまで、学級委員や学習委員は、呼びかけを！
 - 1時間1時間の授業を大切にし、分からないところは進んで質問する。
 - 各教科の宿題に励み、予習や復習にも努める。
 - ノートの取り方や予習・復習の方法を工夫する。
 - テストの答案・プリントなどは、学校から持ち帰った後は、家庭できちんと保管し、今後の学習に役立てる。
 - 学校に置いてよい物、家庭に持って帰る物を区別する。（学年ごとに一覧表がです。）
- 家庭学習・・・**
 - 「阿蘇中学校校区」家庭学習のすすめ
 - 毎日の学習時間・就寝時間・起床時間を決め、家庭学習を習慣化しましょう。
 - 各教科の宿題・・・授業内容を自分のものにするための課題です。必ずやりましょう。
 - 自学ノートの活用・・・各学年ごとに指示がです。
 - ・次の日の時間割や持参物
 - ・今日のMVP
 - ・ここでの記録
 - ・自分で考えて学習する内容
 - （例）その日に学習した内容を自学ノートにまとめる
 - 反復練習（計算問題・英語の単語）等
 - 「☆☆☆☆☆（教材名）」・・・タブレットで使用する問題集です。
 - 授業の最初や終わりで授業内容のまとめや、宿題で解きます。
- テストの受け方** 別紙参照
- 「学習道具管理表」について**
 - 5教科の教科書や副教材等は、学校の自分の担当箱に置いて帰ってもよいこととします。ただし、必要な時（宿題、テスト前等）は持ち帰ります。
 - 技能教科の教材等は、各技能教科の教室で保管し、テスト前は持ち帰ることにします。
 - 音楽・・・教科書・ノート、ファイル等 → 音楽室
 - 美術・・・教科書・資料集・絵の具等の道具 → 美術室
 - 保健・・・体育館シューズ → 体育館、保健の教科書・体育帽子 → 教室
 - 技術・家庭科・・・教科書・県版ノート・ファイル → パソコン室・技術室・家庭科室
- 授業について**
 - 授業規律を大切にしましょう！
 - ・授業に臨む態度（話しを聞く姿勢：相手の方を向く・見る・聞く）
 - ・相手の意見を尊重し、お互いを認め合おう。
 - ・話し合うときと、そうでないときのけじめをつけよう。

誰もが安心して 自分の考えを発表できる 雰囲気を作ろう！

**2021年度 阿蘇中学校
学習道具管理表（1年生）**

	原則持ち帰る道具	置いてもOK（必要なときは持ち帰る）	保管場所
国語		教科書、ノート、ファイル ワーク、漢字ワーク	教室
社会	教科書、ワーク	地理資料集、地図帳、ファイル	教室
数学	数学の友	教科書、ノート、ファイル	教室
理科	教科書、ノート、県版問題集	県版資料集、ファイル	教室
英語		教科書、ノート ワーク「英語の基本学習」	教室
音楽		教科書（音楽1、器楽） 音楽ノート、ファイル	音楽室
美術	返却された作品 持ち帰りを指示された道具	教科書、資料集、ファイル 使用中の道具	美術室
保健	体育服	体育館シューズ 体育帽子、教科書、保健ノート	体育館 教室
技術	返却された作品	教科書、県版ノート、ファイル	技術室 パソコン室
家庭	返却された作品	教科書、県版ノート、ファイル	家庭科室

※教科書、ノートは家庭学習の必要に応じて持ち帰る。
※忘れ物や紛失がないように、自分できちんと管理しましょう。

 **整理整とん** 

【「置き勉」リストの一覧】

[工夫した点]

- 生徒の実態（発達段階や家庭学習）について年度当初の職員会議で共通理解を図って作成した。
- 全校生徒の学校生活オリエンテーション（学習の部）にて学習について共通理解を図った。
- 生徒全員に「学習道具管理表」を配付し、学習委員が連絡とクラス掲示を行った。

生徒が家庭学習の内容に応じて持ち帰る物を決められるように、生徒や保護者に周知している取組（嘉島町立嘉島中学校の例）

生徒の発達段階や家庭学習への取組を考慮した上で、教具は教室の個人棚に置いてよいとし、掲示物や通信を通して、生徒や保護者に周知しています。

個人棚の整理

道具は担当箱に入れておきましょう。

向かって左側にファーストバッグを立てて置き、肩ひもは内側に完全にしましましょう。

教具は立てて並べ、バッグがない時もきれいに整頓しておきましょう。



教具の持ち帰り

○持ち帰る物は自分で決めましょう。

例) 自学ノートに問題を解くためにワークを持ち帰る
教科の宿題や復習のために教科書を持ち帰る。
習字の授業が終わったから道具を持ち帰る。

〔工夫した点〕

- 昨年度は、個人棚に置いて帰ってよい教具を各教科で決め、一覧を掲示していた。今年度からは、生徒の実態（発達段階や家庭学習への取組等）に応じて、自分で持ち帰る教具等を決められるようにした。
- 掲示物等で教材の持ち帰りについて知らせるとともに、帰りの会等で家庭での学習内容に応じて持ち帰る物を決めるよう、担任から声掛けや促しを行った。

児童生徒の携行品への配慮に関する工夫例

生徒会活動を中心に、課題や目的を共有した上で自らルールを作ることを通して、規範意識や学校の良い伝統を築く自治意識の向上を図る取組 (八代市立第五中学校の例)

持ち帰る教材・教具の選択を主体的に行うことが自身の自己実現のための力となることや安心・安全な登下校につながることを全校生徒に共有させた。その上で考えられる課題とその対策を生徒会本部や委員会活動、各学級で検討し、自ら作ったルールだから自分たちの手で守るという意欲をもたせた。

令和2年8月31日

学習教材の持ち帰りについて

学習委員会担当

- 1 目的
(1) 学習への主体性、計画性を向上
(2) 自治意識の高揚
(3) 安全の確保
- 2 方法
・持ち帰る教材
学級担任や教科担当者から特別の指定がある場合を除き、自分で選択して持ち帰る(「持ち帰る」・「持ち帰らない」は自己判断・自己責任)。ただし、貴重品・筆箱・腐敗する恐れのあるもの(使用済み体育服、植物等)は必ず持ち帰る。
・置いて帰る教材の保管場所等
自分のものには必ず記名して教室後方の自分の担当棚(廊下の棚等には置かない)に整頓して保管する。日直及び担任は、学級の生徒が全て下校した教室の状態を確認しておく。(机の上、机の中に何も残っていないか等)
- 3 今後のスケジュール
8月31日 職員朝会 担当(岡)から職員へ提案
9月 1日 専門委員会 学習委員長から各学級の学習委員へ提案(理由、方法等を検討)
9月 2日 専門委員会 生徒議会で生徒会本部及び各学級代議員へ伝える内容について検討
9月 3日 生徒議会 学習委員長から生徒会本部、生徒議会へ提案(生徒会及び学級からの質問や要望を受け伝える。
生徒自らがルールを定め、そのルールを主体的にも守っていくことの重要性を伝える。
※「生徒の主体的で責任を持った行動が学校生活をよりよくすること」や「全校生徒の規範意識に掛かっている」、「今の五中だからできる」という意識の共有を図る
9月 8日 生徒集会…全校生徒に周知 学習委員長から全校生徒へ
※学級担任は学級でルールの確認と徹底について説明。

学習用具の持ち帰りについて

やりたいこと、やるべきことのために、

持ち帰る物を選択しよう

- 1 自分のモノを確実に管理しよう。
(1)自分のモノに必ず記名する。
(2)登校後、速やかに時間割を確認し、必要なモノを準備する。
(3)忘れ物をした場合、担任の先生や教科担当の先生にできるだけ早く正直に伝える。(誰かから借りたり、勝手に他の人のものを使ったりしない)
- 2 「帰りの会」の時間に持ち帰るモノを確認しよう
(1)翌日の時間割や提出物などを確認する。
(2)家庭学習の計画を立てる。
(3)持ち帰るモノを決める。
【必ず持ち帰るモノ】：筆記用具、五中生ノート、水筒、生もの、体育服(夏場は水着)、その他貴重品
- 3 「帰りの会」が終わったら学校に置いて帰るモノを整理しよう。
(1)学校に置いて帰るモノを確認し、机の中を空にする。
(2)学校に置いて帰るモノを整理し、後ろの棚に整頓して片付ける。
4 自分で判断し、自分のモノを自分で管理する力を付けよう。
(1)教科書類は「必ず置いて帰る」ことを強制しているわけではなく、全て持ち帰っても良い。(「全て持ち帰る」と判断することも自分の物を管理する一つの方法。)
(2)忘れ物をした際、速やかに先生に伝える正直さを持つ。また、忘れ物をした理由を自分自身が理解して改善し、忘れ物を繰り返さないようにする。
(3)校内にある他の人のモノを勝手に使わない。
- 5 以下の場合、該当する学級は教科担当から指定された教材・教具以外は全て持ち帰る。(期間…1週間)
(1)1週間内で忘れ物を3個以上した人が3人以上いた場合
(2)他の人から教材・教具を借りて忘れ物をしたことをごまかした人が1人以上いた場合。
(3)勝手に他の人の教材・教具を使った人が1人以上いた場合。

ルールが守れない期間が続いたり、誰かの物や学校の物が破損したり隠されたり、いたずらされたりした場合は無期限で「置き勉」を停止することもあり得る。

このルールは、令和2年度に八代五中生徒会会員全員で確認・共有して創ったものです。このルールを継続、または改善していくために、上記を忘れないようにして全校生徒で守っていきましょう。

〔工夫した点〕

○教師の側から与えられ、義務付けられたルールではなく、生徒自身がよりよい学校生活を送るためのルールを作るようにした。

○本校の好ましい現状は生徒自身の手で築いた成果であると意識させ、意欲的に生徒会活動に参加するようにしてルールを守り続けるように意欲付けを行った。

【職員会議提案資料】

【「置き勉」についての掲示物】

児童生徒の携行品への配慮に関する工夫例

学校に置いてよい物、いわゆる「置き勉」リスト等の掲示と、テスト前には勉強道具を持ち帰ることを生徒に周知している取組（水俣市立水俣第二中学校の例）

生徒の通学かばんの重さや家庭学習の取組を考慮した上で、水俣二中版「学校に置いて帰ることができるもの」リストを作成し、生徒に周知しています。また、テスト前は確実に勉強道具を持ち帰り、家庭学習ができるように委員会や担任から呼びかけています。

学校に置いて帰ることができるもの

国語	ワーク、ファイル
社会	地図帳
数学	なし（全て持ち帰る）
理科	全部
英語	なし（全て持ち帰る）
音楽	全部
美術	全部
技家	なし（全て持ち帰る）
保体	全部 （使用した体育服・水着は持ち帰る）

※ 宿題があるとき、復習をしなければならないときなど
家庭で学習が必要な場合は必ず持ち帰る
（自主的・計画的に持ち帰って学習をしよう）

※ テスト前は学習のために必ず持ち帰る

クラス掲示用



〔工夫した点〕

- 生徒の実態を把握し、（通学かばんの重さや家庭学習の取組等）「学校に置いて帰ることができるもの」リストを作成した。
- テスト前には文化学習委員が主となり、計画的に勉強道具を持ち帰るように帰りの会で呼びかけた。

【「置き勉」リストの一覧】

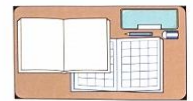
【文化学習委員によるテスト前の勉強道具持ち帰りの呼びかけ】

生徒が主体となり、学習用具等の持ち帰りについてルール等を決めている取組 (相良村立相良中学校の例)

生徒会の学習委員会が各教科の担当の先生と相談し、持ち帰るものとそうでないものを確認して、リストを作成して教室に掲示した。

教室に置いてよいもののリスト

教科	内容
国語	国語スイッチ、解答
社会	資料集、地図帳
数学	なし
理科	問題集、ファイル
英語	なし
音楽	一式(全部)
美術	一式(全部)
保体	一式(全部)
技家	一式(全部)
その他	体育館シューズ、帽子 各辞書、美術道具 他



R3 学習委員会



- [工夫した点]
- 各学期に、学習委員会が中心となりリストの見直しを行い、実効性を高めるようにした。
 - 技能教科等のかさばる用具は、できるだけ置いてよいようにし、生徒の負担を減らしている。用具は空き教室を活用し、生徒が活用しやすいようにした。【写真】

【「置き勉」リストの一覧】

児童生徒の携行品への配慮に関する工夫例

学校に置いてよい物、いわゆる「置き勉」リスト等の掲示や文書等により、生徒や保護者に周知している取組（天草市立御所浦中学校の例）

生徒の発達段階や家庭学習への取組を考慮した上で、御所浦中学校版「置き勉」リストを作成し、教室掲示や文書等を通して、生徒や保護者に周知しています。

令和3年4月20日

保護者様

天草市立御所浦中学校
校長 大平 宏

生徒の携行品について（お知らせ）

陽春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動に、ご理解とご協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

さて、授業で用いる教科書やその他の教材、学用品等が過重となることで、子供たちの身体の健やかな発達に影響が生じかねない懸念があります。

そこで、本校では、別紙リストの教材等は学校で保管することとし、各教室等で管理を十分に行います。

つきましては、別紙リスト以外のものに関しては、家庭学習の必要性から持ち帰ることとなりますので、御理解いただきますようお願いいたします。

また、併せて、各家庭でのお子様の学習用品の確認につきましてもどうぞよろしくお願いたします。






【問い合わせ先】

天草市立御所浦中学校

TEL 0969-67-3004

令和3年度

教室に置いてよい物

教科	置いてよい物
国語	ファイル、便覧、書写の教科書、 
社会	地図帳、資料集、ファイル、自主学習
数学	数学の友、数学基本カード
理科	資料集、理科問題集、ファイル 
英語	基本学習、ファイル
音楽	教科書、ノート、ファイル 
美術	教科書、絵の具道具 
技術・家庭	教科書、ノート、ファイル
保健体育	実技の教科書、保健の教科書、保健のノート
学・総・道	道徳の教科書、道徳ファイル 私たちの道徳、総合ファイル
その他	読書の本 

ここに書いてある物以外は、毎日持ち帰り、
家庭学習に役立てましょう！！

〔工夫した点〕

○生徒の実態（家庭学習への取組等）に応じて不必要な用具については学校保管とし、「教室に置いてよい物」リストを作成し、生徒、保護者に周知した。また、教室内に保管場所を確保し、授業で使いやすいように工夫している。

○文書で「置き勉」リストを知らせるとともに、ホームページにも掲載し、各家庭での学習用品の確認の協力を依頼した。

【保護者向け配付資料】

【「置き勉」リストの一覧】